

【被災地能登半島へ想いを馳せて】

本校生徒会執行部の企画で行われた能登半島地震への募金活動。先々週金曜日からの1週間、校内で行った募金活動で「38,017円」、土曜日にナックス前において紫波一中と合同で行った募金活動で「122,355円」の金額が集まりました。本当にたくさんの方々にご協力いただきました。集まったお金はゆうちょ銀行を通して義援金として被災者へ送らせていただきます。ありがとうございました。

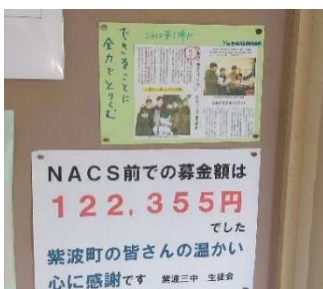
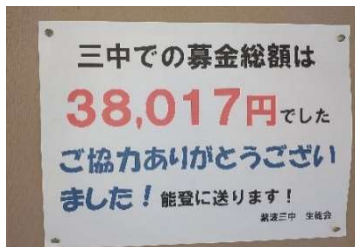
1/30付の岩手日報には「能登 被災者の力に」と題する記事が、募金活動の写真とともに掲載されました。生徒会長の青山ひなたさんは「寒い時季に被災され、大変だと思うが、少しでも早く普通の生活を取り戻してほしい」とコメントしています。募金されたたくさんの方々がかきっと同じ想いを抱いているのではないのでしょうか。改めて、亡くなった方々のご冥福を祈るとともに、被災された方々へのお見舞いを申し上げ、1日も早い復興を皆で祈りましょう。

＜生徒会執行部から～1/30 生徒朝会での清川佳恋さんの話～＞

今日は、先週行った能登半島地震募金についてお話しします。三中での募金総額は38,017円でした。この募金は石川県能登半島地震義援金にゆうちょ銀行を通して送ります。そして、書き損じはがきは31枚集まりました。みなさんのお陰で、岩手県身体障がい者福祉協会に送り、社会に役立てていただくことができます。皆さんの温かい気持ちが嬉しかったです。ご協力ありがとうございました。27日のナックスの募金活動では122,355円集まりました。

私が募金活動を行って感じた事は、たくさんありました。能登半島の方々への支援ができたこと。また、人や社会、自分について新しく気づくことができました。特に27日(土)に行った募金活動では、町の人たちが被災地の方々を助けたいという気持ちをひしひしと感じましたし、町の人たちが私たちの活動を見て「これからも頑張つてね」などという声をかけてくれました。募金に協力して下さった方々に本当に感謝しています。一中の生徒会の方々との交流を踏まえ、さまざまな人達と知り合い、協力し合うことで、人との繋がりを広める機会にもなりました。今回のボランティア活動を通して、自分も成長することができたとし、誰かのために行動しようと思う姿が大勢の人から伝わりました。全校の皆さん、先生方、本当にご協力ありがとうございました。

＜生徒会コーナーの掲示＞

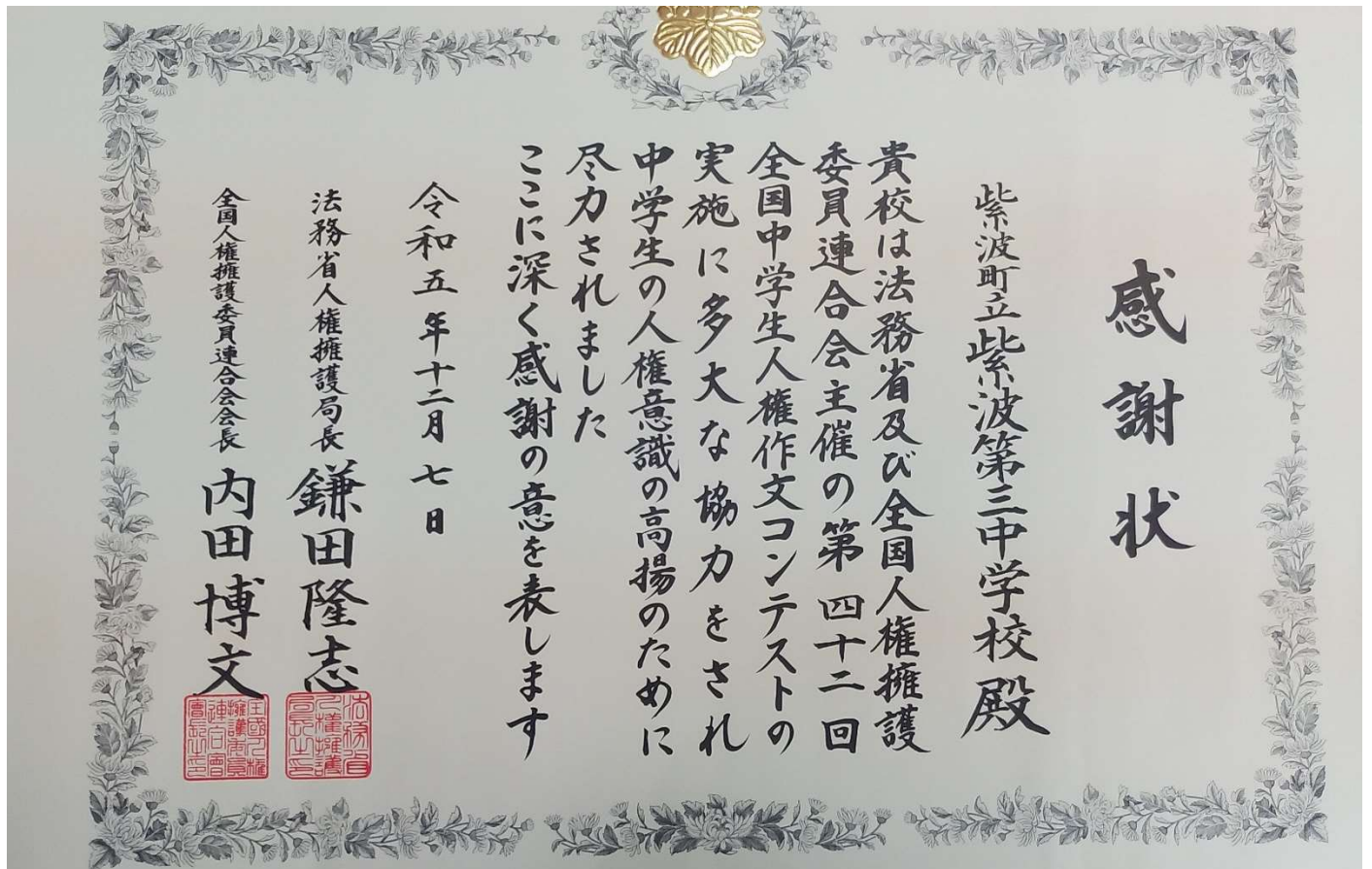


<ナックス前での募金活動>



【人権作文コンテスト】

本校が標記コンテストの実施に多大な協力をしたということで、感謝状をいただきました。人権について自らの考えを書き表すことは人権意識の高揚につながります。町内では一番多い応募数だったそうですが、たくさんのお応募があったということは、それだけ住みよい社会や地域づくりに貢献したという見方もできます。これからも人権を大切にする意識を持ち続ける三中生でありたいものです。



今年度は総合文化部の全国木工作品コンクール文部科学大臣賞、優良PTA文部科学大臣表彰、そしてこの人権作文感謝状と、全国レベルでの表彰をたくさん受けています。うれしいことですし、励みにもなりますね。